



飯綱町コミュニティスクールだより



No.2 令和元年6月1日 飯綱町教育委員会

平成31年度がスタートしました。年号が平成から令和に変わりました。新小学校も開校2年目を迎え、飯綱中学校も昨年度50周年の節目を経て51年目の歴史を刻み始めました。

地域住民による「おらほの学校応援団」の応援を受けて、小中学生の学びがより豊かなものへと進んでいます。

飯綱中学校

＜昨年度の取組から＞

飯綱中学校では、昨年度「読み聞かせ」（全校）、「防災マップ」（1年）、「職場体験」（2年）、「起業体験学習」（3年）等で「おらほの学校応援団」の皆様には大変お世話になりました。

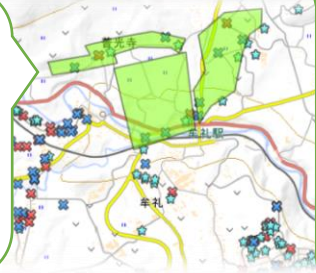
読み聞かせ



地域住民と共に地域の危険箇所を点検し、地図に載せていざという時に役立つマップを制作しています。



起業体験学習では、旧三水第二小跡地で行われた「iママフェスタ」において模擬株式会社を起業し出店しました。購入してもらえそうな商品を検討し当日を迎えました。それぞれの商品はお客様に好評で完売しました。3年生が進路に向け学習を進めている中、社会を知る貴重な体験になりました。



＜いきいきサロンで交流を計画中＞

本年度新たな取組として飯綱町「いきいきサロン」での交流学習を計画しています。まだ計画段階ではありますが、次のような目的をもって進めているところです。

- ① お年寄りを中心とした地域の方々との交流を通して、自分たちが地域の一員であることを自覚し、地域を知り、貢献し、地域のもつ課題を知ります。
- ② 自分たちの活動が地域を動かしているという実感をもつことを通して、学校教育目標「自立」の具現や主権者教育の一環としてつなげていきます。
- ③ この他、矢筒荘訪問、デイサービス利用者の方々への文化祭へのお招き、小中連携「挨拶運動」、地域のバンド吹奏楽部演奏会など、より一層地域と結びついた教育活動の展開を構想しています。

中学生が地域の大先輩であるお年寄りの皆様と関わりを持ち、地域をよく知る機会となり、地域住民の皆様にとっても若いエネルギーから元気を貰える時間となることを期待したいと思います。

<花壇づくりボランティア募集>

先月の中学校からの回覧にありましたように、6月13日（木）午後3時40分から中学校敷地内2箇所の花壇で、花の苗の定植を予定しています。奉仕委員会の生徒十数名と一緒に作業をしてくださる「花壇づくりボランティア」を募集しています。軍手、移植ごてを持参して中学校へお願いします。

中学生が地域住民と直接触れ合うことを通して、日常のコミュニケーション力を高めて行く貴重な場面にもなります。ご協力いただける方の参加をお待ちしています。

当日は、直接飯綱中学校へお越しください。事前連絡は不要です。

おらほの 学校応援団

平成31年3月5日に「おらほの学校応援団」連絡会を行いました。それぞれの分野で活躍されている地域の個人や団体の皆様が学校の応援も行っています。昨年度の活動を振り返って一言ずつお話をいただきました。



応援団の皆様には毎日の登下校の見守りや授業に支援と講師と一緒に入り、児童生徒の学びの支援に協力いただいています。そのおかげで地域の特色を生かした豊かな学びを学校で展開することができました。

「おらほの学校応援団」の皆様は、それぞれの趣味や技術を磨く等の目的で活動していますが、そこで培われた技術を児童生徒のためにも向けていただくのが応援団です。温かく支えていただいています。応援団の皆様は地域に住んでいる方々ですので、児童生徒がよく知っていることもあり安心し親しみ深く関わっています。活動への興味関心の高まりがその姿から伺うことができます。

今後もこのようなスタイルで地域と学校が緊密に連携して一段と地域に根差した学校を目指していきます。

～連絡会のお話しの中から～

「防災無線を使って小学生の下校時刻を地域に知らせ、それを合図に住民が散歩や農作業に出かけるようにすることで住民の多くの目が子どもに向かうようになる。子どもの下校を多くの住民の目で見守ることは犯罪等の抑止力にもつながるのではないか。」

現在、児童生徒の登校時の見守りを30人前後のボランティア様が活動されています。下校時は、数名の方となっています。したがって下校時についてこのようなご意見等は大変心強いと思っており、実施の方向で検討をしています。実施する場合にはご協力をお願いします。

運営委員会から

飯綱町コミュニティスクール運営委員会は昨年度各校3回開かれました。2回目は3校合同の形にして会場は飯綱中学校で行いました。本年度は合同の会を1回増やし合計4回の委員会を予定しています。

昨年度の委員会で3校共通の話題になったのが「ネット依存等メディア利用」についてです。

次代を生き抜く子どもたちにとってパソコンやタブレットの活用は欠かせないところです。学校においてもパソコン等の活用は年代に合わせて学習に取り入れています。

家庭においては、スマホやパソコンの利用によるゲーム依存、体力低下について心配の声が挙がっています。それぞれの委員会で議論された一部を紹介します。

<牟礼小学校> テーマ【子どもの育ちについて（ゲーム、ネット依存、体力低下）】

- ・子どものために何かしてあげるとか準備をするのではなく問題は大人の方にもあるのかもしれない。
- ・子どもたちは鬼ごっこ遊びを楽しそうにやる。あの楽しさにはまればゲームやスマホから離れられないのではないか。
- ・親も含めて正しい使い方を学びルールを守っていく。

<三水小学校> テーマ【メディア教育について（SNS、ネットゲーム、ネット依存）】

- ・便利なものなので利用について否定は出来ない。時代性もあり活用性を考えていく。車の運転と同じで未成年が利用するにあたって、利便性の他に危険性についても理解させていく。
- ・子どもと親との間にネット利用について認識のギャップがある。
- ・ゲームに依存すると創造力や判断力が鈍るのではないかという心配の声がある。その心配を克服するために読書であったり、ノーメディアデーを行ったりすることが有効か。

<飯綱中学校> テーマ【SNS等のコミュニケーションツールに潜む危険性】

○SNSなどは、今の子どもたちには大事かもしれない。むしろできなければ困ることがある。

- ・ノーメディアデーは親子の会話が生まれて良かった。（アンケート結果より）
- ・スマホを持たない日、スマホを持たない時間を増やしていけば高校生になった時に良い習慣になっていく。

○親のあり方、親への働きかけが大事。

言葉…意味とか受け取り方が大事。

学ぶ…伝えないと困る時代に入ったのでルール作りをしていく。

- ・SNS等の被害事件を防ぐため学習会等をして、そこで親も一緒に学ぶ。
- ・「一週間に一日は子どもと一緒に食事をとりお茶を飲む時間をつくりましょう」と地域から発信をしていく。

以上が運営委員会で議論された内容の一部です。全体ではないので分かりにくいところお許しください。ネット依存等メディア教育は今後も議論が必要です。改善につながる事例等お気づきのこと等ございましたら紹介いただければありがたいです。

新学期が始まり、小学校では避難訓練、児童総会、1年生を迎える会、交通安全教室、引き渡し訓練、リンゴの摘花等の行事や学習が始まりました。

牟礼小学校



避難訓練

三水小学校



児童総会



りんごの摘花3年生



一年生を迎える会



児童の引き渡し訓練



交通安全教室

中学校に赤ちゃんが来ました

5月14日(火)「なかよし広場」として子育て支援センターが中学校104教室に出張になりました。午前9時30分～午前11時30分の中で、子育てママさんと乳幼児が参加しました。中学生も授業の合間に「なかよし広場」に顔を出して「かわいい」と声が挙がっていました。

子育てママさんと乳幼児にはリフレッシュの時間になったり、中学生には子どもに関わる仕事を考えるキャリア教育の時間になったり、両者にとって良いふれあいの機会となることを期待しています。およそ月1回の出張事業となっています。

